

週刊 勤勞タイムス

毎週日曜日発行
定価 一月二十五円
半年一百五十円
一年二百五十円
地方指定 二十四円増
印刷所 福島県平野町八番地
福島県平野町八番地
福島県平野町八番地
福島県平野町八番地

特號

眞相 市場の不正 逐一暴露さる

轟轟たる世論の非難、憎愛の脚光を浴びて其の成行を注目せられた磐城丸公市場の押収物資取扱ひに關する不正事件は丸公市場を獨占する一部幹部の必死の策動も遂に民衆の總意に對戦し難く今や崩壊の寸前にある。

吾が勤勞タイムスは民主日本の前衛となりこの醜惡なる裏面を暴露し以て大衆の批判を仰がんとするものなり。仰々押収物資の海産物製品は主として六大都市の榮養資源の乏しき地方へ北海道及青森地方より輸送せられつゝあつたもので、闇賣よりはむしろ親戚友人等への心づくしの品物が多い、本年二月三日より平署員立會の下で總べての食料品は押収せられ丸公市場や食糧公園へ運ばれ之が處分を委任された。荷主には誠に氣の毒であつたが命令とあればやむを得なかつたとは當時の取扱人の言葉である。

差額金は車田主任の指令

今この事件の焦点は差額金に在りて配給されねばならぬ額なるものを捻出されなかつたが(即ちなせ)安値はならなかつたに集中されなかつた配給時の生産地価格に、即ち當然生産地価格によつて配給されなかつたか押収された物資が飢餓と窮にある事を我々は他く迄小乏に苦しむ市民諸君に郵送市民的立場からトントン迄其の他諸君を合せた、赤り下げて追究せねばならぬ(割乃至三割程度)の小買価格の問題の頭領伊藤氏の主張

伊藤氏天地神明に誓ひ断言して居る、
三月頃より
疑惑視される市場
二月の末から三月にかけて市場に對して變な風評がこび出して来た。

割差出さねばならなかつたか、全く市民諸君には納得出来ぬ問題ではなからうか?
一方經濟防犯主任の要職にある車田主任の十四日付某紙への發表によると小買値の件は分荷委員會の決定承認によつてなされ縣下各署の操作も同一である様にこゝれが問題となれば縣下警察全体に波及するとか云はれるが縣下各署々々も兎も角分荷委員會は絶對價格決定の機關に非ずと云はれ全く伊藤氏並に車田主任の一方的取引きであると云はれる

寄附金は口留料か?

刑事協會に獻納し
確實な情報として伊藤氏の益ザク大量横流し問題であるが市民一軒何れと云ふけちな配給方法を取り大部分は某炭礦方面に放出され居る外昨年八月のムシ返して居るが大層一千貫に渡りであるが大量に渡りしスルメの横流しも車田主任の確實なる商談の下になされたものであり剰余金の一部は必ず刑事協會への寄附として差出す條件の下になされたものである事は

四月中旬一寸すぎた頃伊藤氏は口留めのつもりか男を賣るつもりか獨断で平署、自治へ十五萬圓、家五萬圓、市役所十萬圓、社合計卅萬圓であつた押収した合計卅萬圓(安値價格)で一般の賣捌いたので之の剰余金が出来たのである。「自治では直ちに受取つたが國家では自治の十五萬圓を賣つて五萬圓を出し、五萬圓をせしめた」市長は不浄な金だかどうか正し調査の上淨財なら寄附して貰ふ事に助成を決めた、未だ市現貨の不正への怒の炎の中へたゞきつた

昨年スメル事件から 疑惑視される伊藤氏

丸公市場の不正を暴露しろへ引きつり出せ!毎日流え!伊藤を洗つて見ろ!昨年と投書が平署を度外視してのスメル事件で前科を貰つた男が三十五萬圓も寄附すの世論に動かされて福島へ!皆んな何もかも白日の元

自重する公安委員會 飛びだした 不正の數々

四月卅日の日になつて突公安委員會としては地元で事件のなき事をのぞんだ。然し五月一日からは平丸共寄受組合が押収物資を取扱ふ様にと指令せられた。かつて警察一本筆で力弱き被統制者の小買商人を支配して来た彼らは今ぞ力弱き民衆の力を知る可き秋であつた。然し之だけでは未だ終らな出したのは四月の中旬頃で、その時は三十萬圓で後から五萬圓追加で三十五萬圓となつたが、四月三十日の疑問を抱いて此の三十五萬圓の内容明示方に付いて平自治警察署長に命じたが、一月一週間もかゝつて計算だ、半月も前に海も山も付かない押収物資の利益金迄をびつたり豫言するのは天下に伊藤事務一人だらう、暗雲低迷するまゝに月日が流れた。

(二面へ續く)

一時下火か

五月に入つてからの丸共荷つた。受組合の取扱は明らかな民主的やりかたであつた、一時が出張したのも事實であつた。丸公の風評は消えたかの様だ。

燃え上つた

丸公市場の疑惑

五月下旬になつて又バツと火が燃え上つた丸公市場の總會を伊豆の伊東までのし行つて大勢六十名余りであつた。五十萬圓費つて大家遊をやつたのだと時節柄市民の非難となつた。勿論その噂の大金の出所は當然押収品の不正利得であつたと信じられた。こゝまでくれば當然丸公問題はこのまゝでは済まされなくなつた。

躍る某紙!!

疑報の連發!

然して十四日の某紙の報導は酒席参列の人物中に架空物なる人物を登場せしめ又虚疑の事實を記載したる事は讀者をして公正なる判断を誤らしめ且亦正しき者への不満の意を表明しつゝ、今後の信用に重大なる影響を及ぼすものを見えられた。力も引張られた事實を市民は知つて居るし又強力な者は平氣で大通りを活歩して居る事も知つて居た。

躍る某紙!!

疑報の連發!

然して十四日の某紙の報導は酒席参列の人物中に架空物なる人物を登場せしめ又虚疑の事實を記載したる事は讀者をして公正なる判断を誤らしめ且亦正しき者への不満の意を表明しつゝ、今後の信用に重大なる影響を及ぼすものを見えられた。力も引張られた事實を市民は知つて居るし又強力な者は平氣で大通りを活歩して居る事も知つて居た。

躍る某紙!!

疑報の連發!

然して十四日の某紙の報導は酒席参列の人物中に架空物なる人物を登場せしめ又虚疑の事實を記載したる事は讀者をして公正なる判断を誤らしめ且亦正しき者への不満の意を表明しつゝ、今後の信用に重大なる影響を及ぼすものを見えられた。力も引張られた事實を市民は知つて居るし又強力な者は平氣で大通りを活歩して居る事も知つて居た。

國警、自警の相酷

奇怪な責任のなすり合ひ

要するに、このねらひがある様節を書きならべて市民大衆の反感を檢事一行になすり付けて唯にたのまれたかばかりで、知らないけれども事件の核心から民意をさらさんとす

躍り出した平署長?

ニツタリホクソ笑む怪物伊藤

第一に寄附金である名目のものである。場合寄附行為が彼自身の正当なる利益に非ざるもの意志に基き何處へ何程寄附を寄附行為に及ぶことはある事自由であるが、このり得ない。押收行為は進駐軍の名に於て第二、五分の手数以外は三

躍り出した平署長?

ニツタリホクソ笑む怪物伊藤

第一に寄附金である名目のものである。場合寄附行為が彼自身の正当なる利益に非ざるもの意志に基き何處へ何程寄附を寄附行為に及ぶことはある事自由であるが、このり得ない。押收行為は進駐軍の名に於て第二、五分の手数以外は三

躍り出した平署長?

ニツタリホクソ笑む怪物伊藤

第一に寄附金である名目のものである。場合寄附行為が彼自身の正当なる利益に非ざるもの意志に基き何處へ何程寄附を寄附行為に及ぶことはある事自由であるが、このり得ない。押收行為は進駐軍の名に於て第二、五分の手数以外は三

手先に躍る平警察

ワシカナワンヨ伊藤ハン

伊藤氏のかつての學童用ス平自治警察署長及同車田經ルメ事件の時差額金刑事事件主任は去る十五日福島某協會へ寄附する積りでソノ方面より市場に關する一

五千圓懸賞大募集

市民諸君に訴ふ

我等の祖國、我等の郷土は我等の手で防衛しなければならぬ、之を破壊する我等の敵、民衆の敵は我等の手で摘發粉砕しなければならぬ。政治經濟、社會、文化、各界、人に知られぬ特だね

東北最初の

プロ拳闘選手権大試合

日時 八月二十二日夜七時
場所 平市三丁目特設リング
プロگرام (元サーカス跡)
四回戦 長島友光—小笠原壽雄
四回戦 本城靖夫—福島吉夫
四回戦 密崎彌太郎—豊田和雄
六回戦 北村淑(新和)—増村雪一(赤羽)
六回戦 堀口喬久(堀口)—大畑廣(新世界)
八回戦 大野正一(新興)—高野立(日東)
十回戦 堀口廣(堀口)—牧野猛(城南)
十回戦 堀口恒男(堀口)—松本圭一(日東)

青果物 食料品 卸問屋
三國屋
高野正男商店
平市 南町
電話一〇〇八番

泌尿器科
皮膚科
理学療法科
平市南町T107
松村醫院

親切丁寧な店
市川パン店へ
平市南町
電話九三六番